

## 県民向け「参画と協働ガイドブック」(仮称)の作成について

## 1 趣旨

県民と県民、県民と県行政のパートナーシップによる地域課題解決に向けた地域づくり活動の一層の普及・浸透を図るため、参画と協働の考え方や、活動を始めたり、活動を継続・拡充するためのノウハウ、県の支援施策などについて分かりやすくまとめたガイドブックを作成し、多様な機会を捉えて普及・啓発することにより、

県民への参画と協働の考え方の一層の浸透を図るとともに、

地域づくり活動に取り組むきっかけづくりや活動の質の向上など、県民の主体的な地域づくり活動のさらなる広がりを支援する。

## 2 構成及び内容

項目	内容
はじめに	ガイドブックの趣旨・目的など
「参画と協働」を知ろう	<p>1 「参画と協働」ってどんなもの? (P3~4参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参画と協働の意味や概念について</li> <li>(1) みんなで取り組む地域づくり活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり活動の事例、地域づくり活動に取り組む団体の種類と特徴</li> </ul> </li> <li>(2) 県民とともに歩む県行政の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参画と協働による県行政を推進するための県の主な施策・事業</li> </ul> </li> <li>(3) 参画・協働条例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「県民の参画と協働に関する条例」の紹介</li> </ul> </li> </ul> <p>2 「参画と協働」が進むと... (P5参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参画と協働による取り組みの効果について分かりやすく記載</li> <li>(1) 住みやすい地域社会づくりにつながります</li> <li>(2) 地域にかかわることにより豊かな暮らしを実感できます</li> <li>(3) サービスの幅が広がります</li> <li>(4) 行政のあり方が絶えず見直されます</li> </ul>
「参画と協働」を実践しよう	<p>みんなで取り組む地域づくり活動 (フローチャートはP6~7参照)</p> <p>1 「参画と協働」を実践するためのフローチャート(みんなで取り組む地域づくり活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どこを読めばいいのか分かりやすくするため、フローチャートと「2 参画と協働Q&amp;A」の項目を対応</li> </ul> <p>2 参画と協働Q&amp;A</p> <p>(1) 活動する前に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり活動の心構え、注意点、マナーについて など</li> </ul> <p>(2) 活動をはじめたい人へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談方法、見学会や現場体験、ボランティア保険、NPO、活動にかかるお金について など</li> </ul> <p>(3) 活動している人へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な人材の獲得方法、活動資金、活動場所、運営方法、活動のPR方法、他団体との連携・交流について など</li> <li>「地域づくり活動の事例集」から一言アドバイスを記載</li> </ul> <p>県民とともに歩む県行政の推進 (フローチャートはP20~21参照)</p> <p>1 「参画と協働」を実践するためのフローチャート(県民とともに歩む県行政の推進)</p> <p>2 参画と協働Q&amp;A (Q&amp;AイメージP22参照)</p> <p>県行政と関わりをもちたい人へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県からの情報を得る方法、県への意見・提案の方法、協働の方法など</li> </ul> <p>地域づくり活動の概要・具体例 (P23一覧参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり活動の概要・具体例について、NPO法が規定する17分野に整理して記載</li> </ul>
おわりに	地域づくり活動の今後の展開方向について
索引	地域づくり活動分野と活動ニーズで検索

### 3 活用方法

県民の情報源として活用

- ・ ホームページで公開
- ・ ひょうごボランティアプラザ、生活創造センター等の地域づくり活動の支援機関に配布
- ・ その他機会を捉えて県民に普及・啓発を図る。

地域づくり活動リーダー研修の実施

- ・ 地域づくり活動団体のリーダーを対象とした講義やワークショップ等によるリーダー研修で活用し、リーダーのさらなる技術力と実践力の向上を図る。

県民局や関係機関が実施する会議や勉強会等で活用

### 4 作成スケジュール

- ・ 5月～ 作成方針の検討
- ・ 7月～ 県民生活審議会 参画・協働推進部会の審議  
県民、NPO、地域づくり活動サポーター等のヒアリング
- ・ 11月頃 ガイドブック完成予定

## 1 「参画と協働」ってどんなもの？

「参画」とは、ものごとの企画、立案に積極的に加わることです。

「協働」とは、みんなが協力・協調し、ともに汗を流して行動することです。

「参画と協働」とは、これら2つを一連の流れとしてとらえています。

### (1) みんなで取り組む地域づくり活動

「参画と協働」を地域づくりにあてはめると...

自分たちの地域を住みやすくするため、知恵や力を出しあって、地域のことをみんなで決め、力を合わせて、さまざまな地域づくりに取り組むことです。

#### 《地域づくり活動の事例》

多くの県民の皆さんがさまざまな地域づくり活動に取り組んでおられます。そのいくつかをご紹介します。(もう少し事例は増やします。)

#### 自主防犯活動

浜町メンズクラブ(芦屋市)

自治会、子供会、老人会の男性が集まり、朝の小学生登校指導とあいさつ運動、夜間パトロール時のゴミ不法投棄チェック、迷惑駐車チェック、防犯・美化啓発誌の発行などの活動をしています。



#### 地域のみんで美しい公園づくり

中村町あかね坂公園朝そうじの会(多可町中区)

県と契約を結び、地域のさまざまな年代の交流拠点となっている公園の掃除を行っています。また、地元の中学生を「トライやる・ウィーク」で受け入れ、公園施設に絵を描いてもらったり、花を植えたりするなど、公園をより美しくするための活動を行っています。



#### 子育てサロン

子育てサロン八鹿・伊佐(養父市)

遊びの場、つどいの場として福祉センターや地区公民館等を開放し、民生児童委員やボランティアで運営されている子育てひろばです。子どもはおもちゃで遊び、お母さんや子ども好きのボランティアが子どもを囲み、お母さん同士がおしゃべりを楽しんだり、子どもの成長をみんなで喜びながら、あたたかい雰囲気ですalonが開催されています。



## 《地域づくり活動に取り組む団体・グループ》

県民の皆さんが、さまざまな団体・グループで、子育てや高齢者支援、環境・緑化、安全まちづくりなど、多彩な地域づくり活動に取り組んでおられます。

種 類	活 動 の 特 徴
地域団体	自治会、婦人会、子ども会など、最も身近な地域社会で、地域住民に共通するあらゆる活動を総合的・日常的に行っています。
ボランティアグループ・団体	目的や志をともにする個人が集まって、特定のテーマについて、柔軟に活動を行っています。
NPO	目的や志をともにする個人が集まって組織をつくり、特定のテーマについて、専門性を生かして活動を行っています。

## (2) 県民とともに歩む県行政の推進

「参画と協働」を県行政にあてはめると...

県民と県行政が、地域の課題や情報を共有し、ともに考え、ともに取り組むことです。

### 《参画と協働の県の主な施策・事業》

兵庫県では、このような考え方のもと、生活者の視点に立った参画と協働による県行政を推進するために、さまざまな施策・事業を行っています。

#### 県民と情報を共有する

##### 県民参画による広報

公募により選任された県民の皆さんが、広報紙面の企画検討に参加したり、広報モニターとして広報活動を評価しています。

#### 県民と知恵を出し合う

##### さわやか提案箱

県のホームページに知事宛てのメールボックスを設け、電子メールにより県民の皆さんから意見・提案を受け付け、回答を行っています。

##### パブリック・コメント手続

県行政の政策形成段階から県民の皆さんの積極的な参画をいただき、生活者の視点に立った幅広い県民の皆さんの意見を求めるパブリック・コメント手続を運用しています。

#### 県民と力を合わせる

##### コミュニケーション型県土づくり

道路・河川等の整備への県民参加を通して、県民の皆さんの「つくり、まもり、そだてる」という意識の啓発を図りながら、コミュニケーション型行政を幅広く進めています。

## (3) 参画・協働条例

兵庫県では、これらの活動を確かなものにするため、「県民の参画と協働の推進に関する条例(平成15年4月施行)」に基づき、県民の皆さんとともにさまざまな施策に取り組んでいます。

## 2 「参画と協働」が進むと・・・

県民の皆さん同士、県民の皆さんと県行政が知恵や力をあわせ、「参画と協働」の取り組みが進むと、「元気と安心」の「美しい兵庫」が実現します。

### (1) 住みやすい地域社会づくりにつながります

県民一人ひとりが地域のことを考え、しあわせや夢を実現していくことで、地域の持つ力も向上し、住みやすい地域社会の形成につながります。



### (2) 地域にかかわることにより豊かな暮らしを実感できます

すすんで地域づくり活動に取り組むことで、地域社会に役立っているという実感を持つことができ、さらには人生の充実感にもつながります。

### (3) サービスの幅が広がります

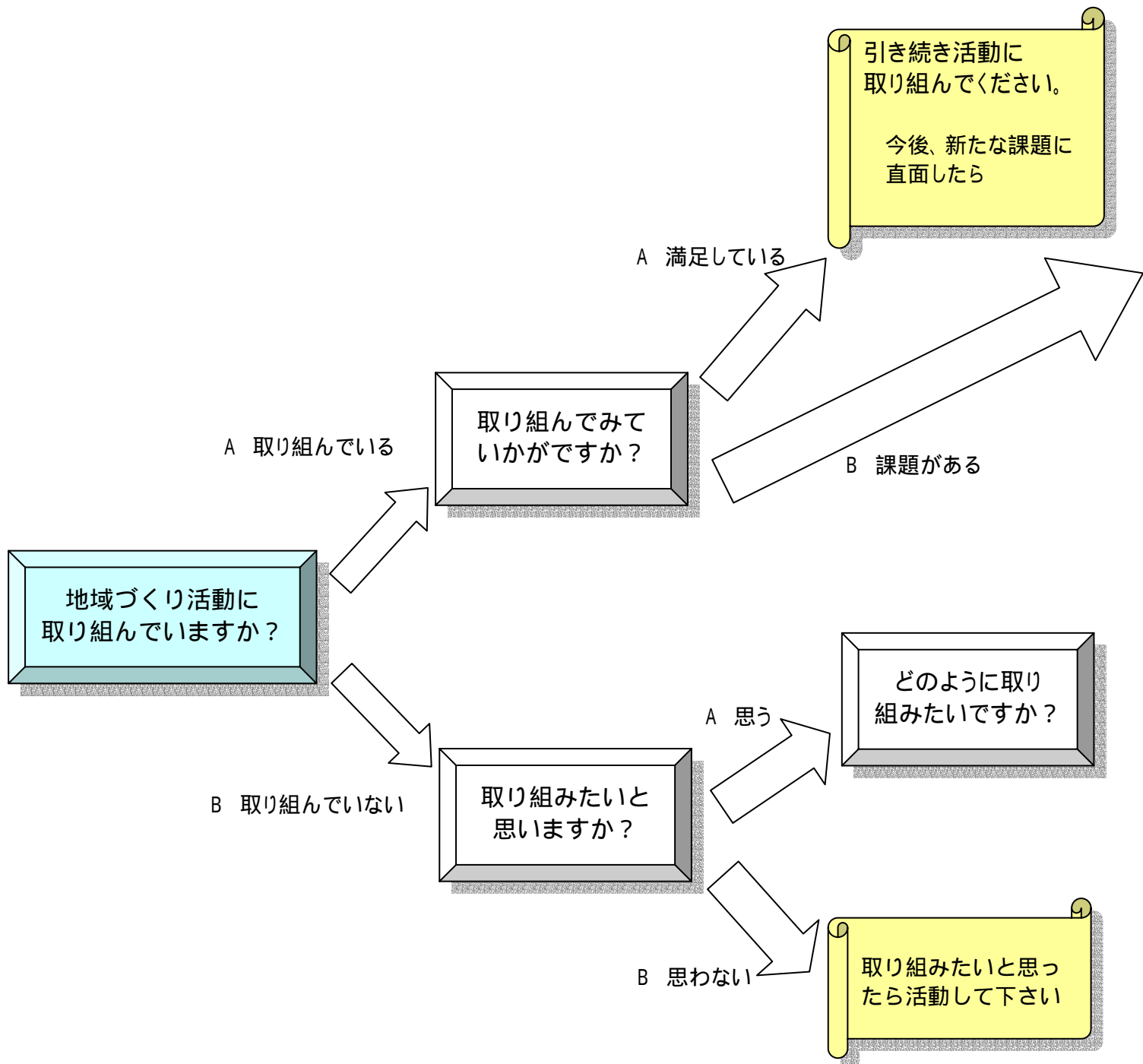
地域団体や NPO などが力を発揮することで、行政のみでは難しかった、地域の特性を踏まえたきめ細かなニーズに応じた、さまざまなサービスが提供されることとなります。



### (4) 行政のあり方が絶えず見直されます

県民の皆さんのニーズに基づき、協働していくことで、行政の考え方やしくみも改善され、県民の視点に立った行政サービスの向上につながります。

# 1 「参画と協働」を実践するためのフローチャート 《みんなで取り組む地域づくり活動》



どのような  
課題ですか？

(3)活動している人へ (P8 ~ 9)  
《活動の課題》

- 一緒に活動する仲間が少ない  
(P8、人材・学習)
- 活動するための資金が足りない  
(P8、活動資金)
- 活動する場所が見つからない  
(P9、活動場所)
- 運営がうまくいかない  
(P9、運営方法)
- 自分たちの活動のPR方法  
(P9、活動PR)
- いろいろな団体等との交流・連携  
(P9、交流・連携)
- その他課題があるので相談したい  
(P9、その他相談)

**A 地域団体に入って活動する**

自治会、婦人会などの地域団体は、地域の住民が中心になって、地域課題の解決に取り組むさまざまな活動を行っています。

**B 既存のボランティア・グループ、NPO に入って活動する**

活動したい分野が決まっている場合は、その分野のボランティア・グループ、NPO の活動に参加してみましょう。

**C 自ら活動団体をつくる**

周囲に希望の団体がない場合は、仲間を募って自分でボランティア・グループ、NPO などをつくるのもよいでしょう。

活動方法  
は...

(2)活動をはじめたい人へ  
(P8)

取り組みたい  
と思うが...

**A どうすればよいか分からない**

とにかく一度相談してみてください  
まずどこに相談すればいいの？ (P8)

**B きっかけがない**

どんな小さなきっかけでも構いません。思い切って最初の一步を。  
地域づくり活動をはじめたきっかけは？ (P8)

**C したい活動が見つからない**

地域にはさまざまな課題があり、さまざまな分野の活動があります。きっとあなたの望む活動が見つかるはずですよ。  
地域の課題って何がある？ (P8)  
3 地域づくり活動の概要・具体例(P23)

**D 時間がない**

時間がなくてもできる活動があります。  
時間がない人でもできることって？ (P8)

どのような活動に  
取り組みたいですか？

3 地域づくり活動の概要・  
具体例 (P23)

## 2 参画と協働Q & Aの質問例

### (1) 活動する前に

活動にあたっての心構えは？(P10 参照)

活動の注意点・マナーは？(P11 参照)

### (2) 活動をはじめたい人へ …………… 新たな活動を生み、育む

まずどこに相談すればいいの？

地域づくり活動をはじめたきっかけは？

見学会や現場体験などはあるの？

気軽に参加できるボランティアはある？

どのくらいのペースではじめればいいのか？ (P12 参照)

時間がない人でもできることって？

参加費などのお金は必要なの？

何かトラブルがあった時の補償は？

自分たちで活動団体をつくりたいが、手続などは必要なの？

ボランティアとは？

NPO法人とは？

地域の課題って何がある？

高齢者でもできる活動はある？

子どもがいても活動に参加できる？

共働き家庭でも参加できる活動はある？

特技を生かした活動をしてみたいが

### (3) 活動している人へ …………… 活動を高め、支える 活動をつなぎ広げる

一緒に活動する仲間が少ない(人材・学習)

一緒に活動してくれる仲間が欲しいが、どうすればいい？(P13 参照)

若い人にもっと活動して欲しい(P14 参照)

団体のリーダーになって活動したい(P15 参照)

活動について学びたい(P16 参照)

退職したので活動をしてみたいが？(P17 参照)

活動するための資金が足りない(活動資金)

基本的な資金の獲得方法は？ (P18 参照)

活動コストを軽減させたいが？

助成金の申請書の書き方が分からない

申請の判断基準が分からない

助成金に頼るだけでなく、団体として力をつける方法

市も県もまとめた助成制度はないか

活動する場所が見つからない（活動場所）

活動場所を確保するには？

いつでも利用できる活動拠点はありますか？

運営がうまくいかない（運営方法）

活動を長く続けていくには？

会議を円滑に進めるには？

団体のルールはどのように決めたらよいか

メンバーの役割分担は

もめごとが起こった時には

自分たちの活動のPR方法（活動PR）

もっとたくさんの人に活動を伝えたいが？（P19 参照）

年齢や性別など、対象を絞ってPRしたい

お祭り等のイベントを成功させたい

いろいろな団体との交流・連携（交流・連携）

いろいろな団体と交流したいがどうすればいいか？

行政と上手く付き合っていくには？

大学生のボランティアと交流・連携したい

学校、行政、企業等と一緒に活動したいが？

自治会等の地域団体とNPOが上手く連携するには

分野別のネットワークが欲しい

その他課題があるので相談したい（その他相談）

専門家のアドバイスが欲しい特には

安価で講演してもらえる専門家のリストはないか

## (1) 活動する前に

### Q1 活動にあたっての心構えは？

### A1

地域づくり活動は、自分たちの住んでいる地域をより良くしたいという思いから、自発的に、個性や想像力を発揮して行動することによって、自己実現を図ることができます。

また、地域課題の解決に向けて、地域にかかわるさまざまな主体と知恵や力を出し合って、何かを成し遂げることで、自分の心を豊かにし、お金では手に入らない出会いや発見、そして喜びを手にすることができます。

そのためには、地域のために何か役立つことをしたいという気持ちはもちろん、活動の中に楽しみを見つけ、自分なりの活動スタイルを見つけることが大切です。楽しんで活動していれば、多くの仲間ができて、さらに普段の生活も充実したモノとなるでしょう。

活動の楽しさと活動スタイルを見つけよう！

#### 活動団体からの一言アドバイス

当初は、目標が大きすぎてどこから手をつけていいかわからず、なかなか活動が前に進みませんでした。そこで、やれることからやろうというスタイルにしたことで、活動が楽しくなり、活発になりました。

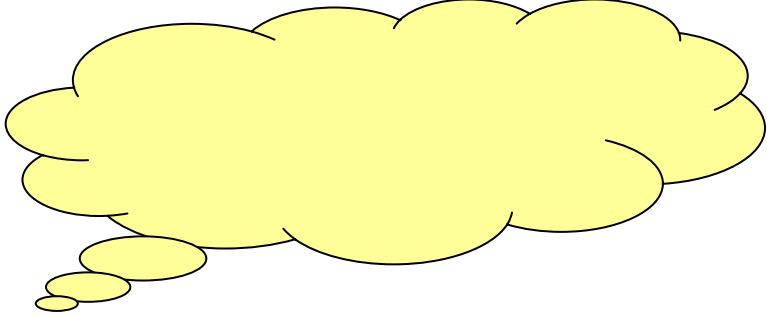
それ以来、「考えてから行動するのではなく、行動しながら考える」をモットーに活動しています。動いてこそ楽しくなるし、楽しくなければ長続きしない、と言えるでしょう。

「失敗すれば、その時点でまた考えよう」くらいの気持ちで取り組んでいます。

できることからやろう「行動しながら考える」

(1) 活動する前に

**Q2** 活動の注意点・マナーは？



「相手の気持ちを尊重」  
「約束や秘密の厳守」  
「手段と目的を間違えずに」

**A2**

**相手の気持ちを尊重**

地域づくり活動は、受け手と送り手がいる双方向の活動です。ですから、自分の思いだけで行動するのではなく、相手の気持ちを尊重することが大切です。「してあげる」という押しつけの善意は、相手にとって非常に迷惑です。相手が何を必要としているか考えながら活動しなければいけません。

**約束や秘密の厳守**

自分の意思ではじめた活動として、また、相手がある行動として、責任がともないます。相手と相談して決めた活動内容や時間、持ち物・服装等の約束は、必ず守るようにしましょう。また、活動で知り得た情報や秘密を口外しないことも必ず守らなければなりません。活動が楽しく感じられるのは相手との信頼関係があるからです。信頼は約束や秘密を守ることによって得られます。

**手段と目的を間違えないで**

活動が長く続くと、「何のために活動するのか」「なぜこの活動が必要なのか」という視点がぼやけてしまいがちです。活動すること自体が目的となってしまう、本来の目的を見失いかねません。時には自分の活動や参加している団体の活動を振り返り、問題点などを点検してみましょう。

また、目的が達成されたのなら、新たな課題の解決に取り組むなど、転換を図る場合もあるかもしれません。いずれにせよ、相手が何を求めているかを考えながら活動することが大切になってきます。

(2) 活動をはじめたい人へ [新たな活動を生み、育む]

**Q5**      どのくらいのペースではじめればいいのか？

**A5**

家族や職場の理解を得て、  
他の予定なども踏まえながら、  
“できるときに” “できることを”  
“できる範囲で” はじめればよいと思います。

苦しくなったら無理せず、少し休むことも必要です。多くの人が楽しく続けられることが大切だと思います。

慣れてきて、続けられるようでしたら、活動の記録をして次に役立てるよう  
にすればよいでしょう。

“できるときに” “できることを”  
“できる範囲で”

活動団体からの一言アドバイス

地域での活動の担い手は、現状では高齢者と主婦が中心です。彼らのライフスタイルに合わせて、総会では、年間のプログラムやスケジュールなどを無理のないよう注意して組んでいます。

また、どんなことに取り組むか、役員で勝手に決めるのではなく、住民からアンケートを取り、住民の総意をくむよう努力しています。

無理のないプログラムとスケジュールを！

(3) 活動している人へ〔活動を高め、支える〕〔活動をつなぎ広げる〕

人材・学習

**Q1** 一緒に活動してくれる仲間が欲しいが、どうすればいい？

自分たちが楽しむこと  
実績・成果をあげること

**A1**

人材確保は、活動の拡大・充実を図るためにも、多くの団体にとって大きな課題です。どうすれば人がたくさん集まるのでしょうか？

まず、自分たちが楽しむことが必要です。自分たちが普段から楽しく活動していると、他の人を巻き込むことができるでしょう。

それから、実績・成果をあげることも大切です。小さな実績・成果でも、積み重ねていくと周りが注目し、近づいてきます。

なお、地域づくり活動支援情報検索システム「ひょうごボランティア活動支援ナビ」では、人・資金・場・交流・ノウハウの支援に関する情報を分かりやすく提供しています。このシステムを利用して、皆さんが求める支援を広く募集することもできます。

活動団体からの一言アドバイス

会議を開催する際、メンバーが「1人10人を集めよう！」を合言葉に、自分の足でボランティア活動に興味がありそうな人たちを探し、集めました。

また、会議のコーディネーターについても、自分たちが「もう一度あの人の話を聞いてみたい！」「あの人の話を聞けば参加者から参考になったと言ってもらえる人」を探し、お願いしました。

そのかいあって、参加者も昨年から大幅に増え、コーディネーターや参加者同士が積極的に意見を交わす素晴らしいイベントになりました。

人を呼ぶには、熱い思いが大事

県の支援施策・事業

「ひょうごボランティア活動支援ナビ」  
<http://www.hyogo-vplaza.jp/navisite/index.html>

(3) 活動している人へ〔活動を高め、支える〕〔活動をつなぎ広げる〕

人材・学習

**Q2 若い人にもっと活動して欲しい**

**A2**

少しでも興味がある若者に対して積極的にPR

実際に活動している団体・グループ人の多くは、若い世代が活動に参加してくれないという悩みを抱えています。

少しでも活動に興味のある若者に対して積極的にPRしていく努力が必要です。

兵庫県青少年本部では、ボランティアに関心のある「青少年活動ボランティア」の登録者を募集し、同時に、ボランティアを求めている活動団体・グループの情報を募集し紹介を行っています。

また、地域の将来を担うのは子どもたちです。子どもたちに地域のことを知ってもらい、好きになってもらえるよう、トライやる・ウィークなどの仕組みを活用するののも一つの方法です。

活動団体からの一言アドバイス

高齢者の食事のサービスをする、ふれあい食堂&喫茶を始めました。

地元の方のボランティアを増やすため、ボランティア募集の張り紙などの、広報活動も行ってきましたが、あまり効果はありませんでした。一番効果があるのは、食堂に来てくれたお客さんにスタッフ募集の話をして、お客さんを通じて口コミしてもらうことですね。お客さんも口コミで増えてきましたが、実際に食堂の素晴らしさを体験した人に広めてもらうから、効果が高いわけです。

一番ボランティアに積極的なのは元気な高齢者の方ですが、若い人にも料理の勉強にもなるというふれこみで、活動への参加を募集しています。

人集めは口コミ&メリット提示で

県の支援施策・事業

青少年活動ボランティア : 兵庫県青少年本部

<http://www.seishonen.or.jp/>

人材・学習

### Q3 団体のリーダーになって活動したい

リーダーの育成・支援に  
取り組んでいます

A3

県民の皆さんの主体的な地域づくり活動が、継続的に展開されるためには、地域団体やNPO等のリーダーの果たす役割が非常に大きいと言えることから、兵庫県では、リーダーの育成、支援に取り組んでいます。

例えば、ふるさとひょうご創生塾では、地域づくり活動の第一線で活躍しているリーダーを対象に、ふるさとづくりの理念や理論、情報・人材をつなぐ技法を学習していただく少人数制のゼミナールを開設しています。

また、NPO大学では、NPO法人等、ボランタリー活動を行う団体を支える専門性の高い人材を養成するため、運営基盤の確立や組織運営・人材活用・資金調達を学ぶ講座を開設しています。

#### 活動団体からの一言アドバイス

私たちは、基本的に何をやるときでも、意思決定にはワークショップを活用しています。ワークショップでは、いかに全員の意見が出るよう運営するかが重要になってきますが、そのためにはコーディネーターを務めるリーダーが、日ごろからメンバーの情報、パーソナリティについてよく知っておくことが重要です。

基本的には私がコーディネーターを務めています。他のメンバーに任せせることもあります。そうすることで、私以外にも会のリーダーとして活動できる人材が増えてきました。

ワークショップを活用しよう

#### 県の支援施策・事業

NPO大学 : ひょうごボランタリープラザ  
<http://www.hyogo-vplaza.jp/menu/12.html>

ふるさとひょうご創生塾 : 県立神戸生活創造センター  
<http://www.sozoc.pref.hyogo.jp/>

(3) 活動している人へ〔活動を高め、支える〕〔活動をつなぎ広げる〕

人材・学習

Q4 活動について学びたい

A4

地域づくり活動に  
関する講座を活用

地域づくり活動の実践能力の向上を図るためにも、常に新しい知識を習得し、学ぼうとする意欲は大切です。

兵庫県では、県民の皆さんの学びたいという要望に沿えるよう、さまざまな地域づくり活動に関する講座を開いています。

- ・生活創造大学
- ・地域活動実践講座
- ・森林ボランティア講座
- ・花と緑のまちづくり講座
- ・障害者ホームヘルパー養成
- ・点訳朗読奉仕員養成講座
- ・男女共同参画アドバイザー養成講座 など

また、生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」は、ワンストップで生涯学習情報が提供される生涯学習のポータルサイトで、こちらでも各種講座を調べることができます。

活動団体からの一言アドバイス

会の発足時からこれまでの活動記録は、すべて文書の形で残し、全会員に送っています。みんなで情報を共有するという目的もちろんありますが、記録をきちんと残すことによって、活動を次代につなげていくことができるからです。

これはパソコンを使って作成していますが、みんながパソコンを使えるようになるよう、週に2回勉強しています。活動記録だけでなく、年賀状をつくったり、名刺をつくったり、活動のためだけでなく自分のためにもなるよう、詳しい会員が講師役を務めながら楽しく勉強中です。

活動のためだけでなく、自分のためにも

県の支援施策・事業

生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」

: <http://www2.hyogo-intercampus.ne.jp/HIC/general/top/top.aspx>

(3) 活動している人へ〔活動を高め、支える〕〔活動をつなぎ広げる〕

人材・学習

**Q5** 退職したので活動をしてみたいが？

これまでの経験や技能を  
地域で生かして下さい

**A5**

県民意識・実態調査の自由意見の中にも、今は仕事で活動することはできないが、退職したらぜひ活動してみたいという意見が多くありました。県でも、2007年頃から定年退職期を迎える団塊の世代が、地域に入って活動しやすくなるよう、地域づくり活動に関する講座を開設しています。

いなみ野学園

- ・地域活動指導者養成講座（2年制）
- ・高齢者大学講座（4年制）

地域高齢者大学（阪神シニアカレッジ、うれしの学園生涯大学、西播磨高齢者文化大学、但馬文教府みてやま学園、丹波OB大学 など）

- ・地域活動実践講座（2年制）
- ・高齢者大学講座

地域創造市民塾

活動団体からの一言アドバイス

私たちは、いなみ野学園の活動指導者養成講座の卒業生が集まる「地活会」で、「せっかく勉強したんだから地域のために何かしましょう」という呼びかけでできたグループです。0～3歳児とその母親を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせ、粘土遊びなどを通じて子育てのお手伝いをしています。

学んだことを地域で生かす

県の支援施策・事業

いなみ野学園 : 財団法人 兵庫県高齢者生きがい創造協会  
<http://www.eonet.ne.jp/~inamino/index.html>

阪神シニアカレッジ : 財団法人 兵庫県高齢者生きがい創造協会  
<http://www8.ocn.ne.jp/~hsc/>

(3) 活動している人へ〔活動を高め、支える〕〔活動をつなぎ広げる〕

活動資金

Q1 基本的な資金の獲得方法は？

自分たちの資金でやりくりするのが理想的ですが、足りない場合は...

A1

実際に活動している方々の多くは資金集めに苦労しており、活動資金の確保が重要な課題となっています。

基本的には、参加者からの入会金・会費や、利用者からの利用料金でやりくりするのが理想的です。

しかし、それだけでは足りない場合には、助成金を活用するののも一つの方法です。ひょうごボランティア基金、地域づくり活動応援(パワーアップ)事業などでは、活動内容に応じた財政支援を行っています。

また、自分たちの活動に協賛してくれる企業や個人から寄附を募ることもできます。その際には、しっかりと自分たちの活動をPRする必要があります。

活動団体からの一言アドバイス

活動をする上で、資金は不可欠です。助成金を申請しようとしたら、申請要件に「 の推薦が必要」などと書いてあるものもあると思います。気にせず応募してください。そして、電話や申請書の備考欄で、なぜそれが必要なのかを聞いてみてください。多くの人の声があがれば、おかしいところは正されます。実際、いくつかの団体の助成事業では、私たちが声をあげたことで要件が削除、または変更されました。

これは助成金に限りませんが、行政や団体がやっていることで、おかしいと思ったことは必ず聞いてみましょう。批判ではなく、ともに良い社会づくりをめざしているのです。まさに、参画と協働なのです。

おかしいと思ったら聞きましょう

県の支援施策・事業

ひょうごボランティア基金事業 : ひょうごボランティアプラザ  
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業 : 参画協働課、各県民局

(3) 活動している人へ〔活動を高め、支える〕〔活動をつなぎ広げる〕

活動PR

Q1 もっとたくさんの人に活動を伝えたいが？

A1

「広報」は活動を発展させる  
有効な手段です

明確な目的を持っている団体  
においては、広報は非常に重要です。  
継続的に広報を行うことで、会員や  
支援者が増え、資金確保にもつながります。

また、活動内容を世間に公表することで社会の認知や評価にもつながっていきます。

広報の手段として、一つは会員向けニュースレター、会員以外の人に講座やイベントの参加を募集するためのチラシ、団体の活動内容を紹介するパンフレットの作成があります。

最近では、インターネットの普及がめざましく、HPを作成してPRする団体も増えてきています。ひょうごボランティアプラザの「地域づくり活動情報システム(コラボネット)」では、地域づくり活動の概要(活動内容、活動分野、活動地域、グループ・団体の概要など)を登録すると、インターネットを通じて広く情報発信することができます。ぜひご活用してみてくださいはいかがでしょうか。

その他に、マスコミにイベントなどを取り上げてもらう方法もあります。ただ、依頼したからといって必ず取り上げてもらえるわけではないので、継続的に報道依頼を試みましょう。

活動団体からの一言アドバイス

開催案内のチラシをつくって町内に全戸配布しています。毎回、会長が1軒ずつ訪れ、手渡しでどんなことをやるかを説明して回っています。お宅に誰もいなかった場合に、はじめてポストに投函するのです。

参加される方が増えてきた一番の原因は、お母さん同士の口コミです。直接お話しすることで、紙では通じないことが通じることもあるのではないのでしょうか。

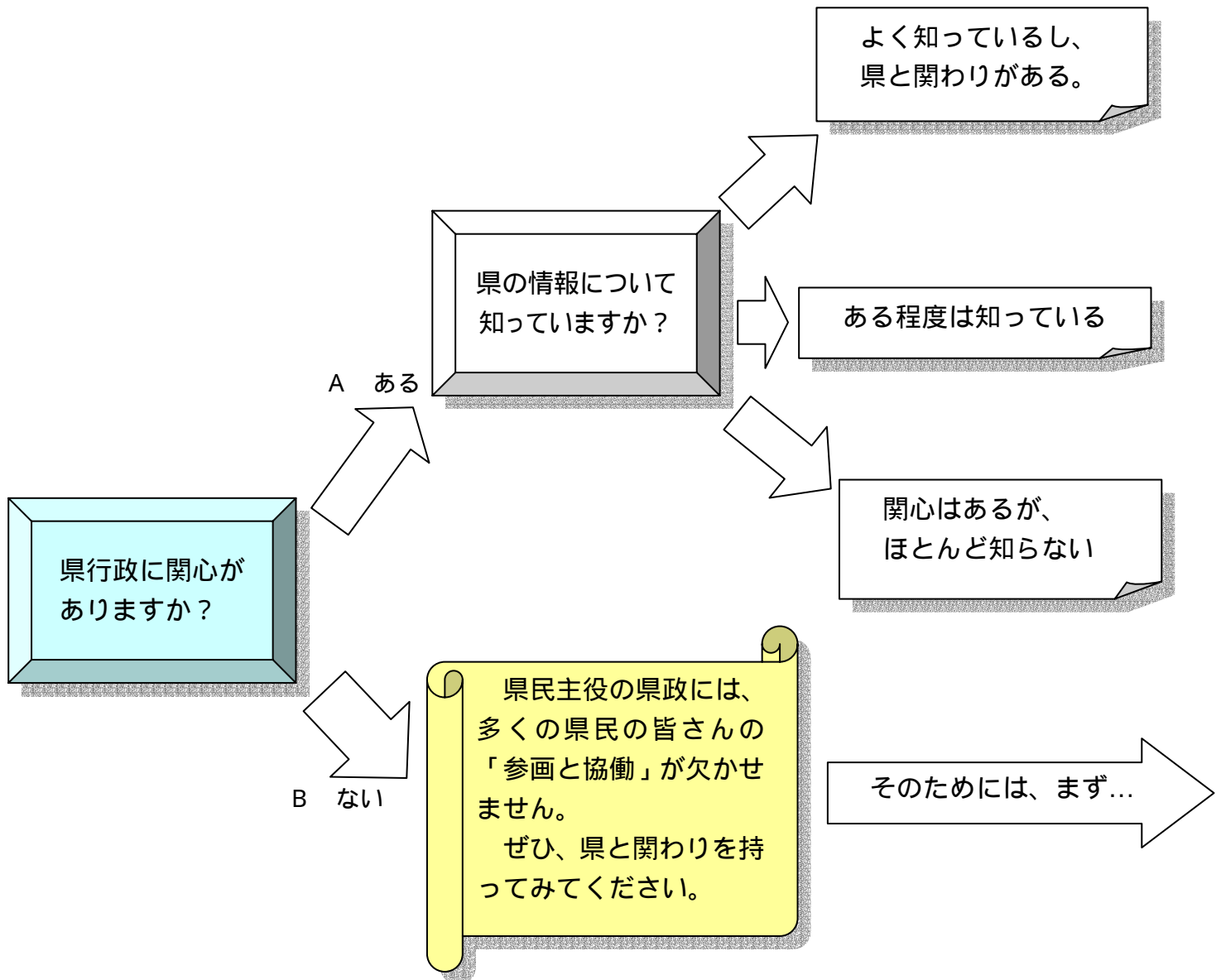
PRは口コミが一番！町内を一軒ずつ回ります！

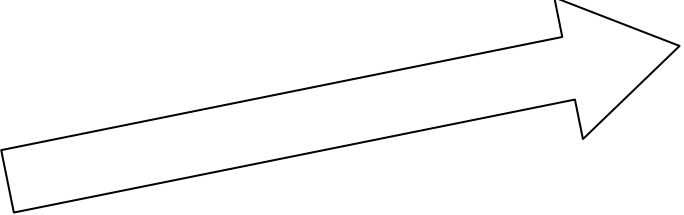
県の支援施策・事業

「地域づくり活動情報システム」(コラボネット)

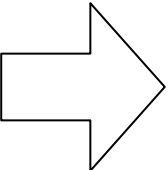
[http://www.hyogo-vplaza.jp/enterprise/2\\_jyouthou/01/gaiyo.html](http://www.hyogo-vplaza.jp/enterprise/2_jyouthou/01/gaiyo.html)

# 1 「参画と協働」を実践するためのフローチャート 《県民とともに歩む県行政の推進》





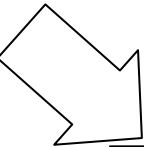
さらなる県行政への「参画と協働」を期待しています。



県の情報を知る (Step 2)

より専門的、より多くの分野の  
情報を知りたいが？

(兵庫県では、より専門的な情報、  
さまざまな分野の情報を県民の皆  
さんに提供しています)



県の情報を知る (Step 1)

県の情報を知りたいが？(P23)

(兵庫県ではさまざまな情報を  
県民の皆さんに提供しています)

県と関わりを持ちたくなったら…

県行政と関わりを持ちたい人へ(P22)

県に意見・提案する

意見・提案の仕方が  
分からない  
不満があってもどこに言えば  
いいのかわからない

地域をよくする活動に県と  
ともに取り組む

協働について詳しく  
知りたい

県政の評価・検証に  
参画する

モニター制度ってどうい  
うもの？



## 県民とともに歩む県行政の推進

県行政と関わりを持ちたい人へ

### Q1 県の情報を知りたいが？

あらゆる機会からあらゆる  
媒体から情報を得る

### A1

参画と協働の原点となる県民の皆さんとの  
情報共有を図るために、兵庫県では、県民の知りたい情報を  
分かりやすく提供し、また、県として伝えたい情報をタイムリーに  
発信できるよう、あらゆる機会や媒体を有効に活用しています。

また、政策会議において策定された年間の広報計画のもと、各部局や県民局  
等に広報推進委員等の広報担当者を設置し、広報課と関係部局とが連携しながら、  
計画的で組織的な広報活動を展開しています。具体的には、報道機関への  
パブリシティ活動に積極的に取り組むとともに、広報紙やパンフレットなどの  
印刷媒体をはじめ、テレビ・ラジオ番組やインターネット、メールマガジンな  
どを効果的に活用した県政情報の提供に取り組んでいます。

#### 活動団体からの一言アドバイス

活動に必要な情報や役に立つ情報は、自治会、婦人会、老人会、民生児童委員など地域のあらゆる団体で構成される「ふれあいのまちづくり協議会」や、防犯福祉コミュニティ、地区の青少年育成協議会、自治会と他の団体との連絡会を通じて得ています。

情報は横のつながりから

#### 県の支援施策・事業

広報紙・誌： 県民だよりひょうご、ニューひょうご  
テレビ番組： 週刊ひょうご“夢”情報、日曜さわやかトーク  
ラジオ番組： 兵庫県からのお知らせ、HYOGO INFORMATION BOX  
インターネット： 兵庫県ホームページ、メールマガジン「ひょうごさわやか通信」、モバイルひょうご(携帯電話向けHP)

地域づくり活動の概要・具体例一覧（活動分野別）

兵庫県ではさまざま分野の地域づくり活動が行われています。どのような活動分野があるのか、その概要・具体例を紹介するとともに、活動分野に対応する県の支援施策・事業の一例を併せてご紹介します。

活動分野	概要・ 具体例	支援施策・事業（活動ニーズ別）													
		情報・相談		人材・学習		資金・モノ		場所		連携・交流		県への 意見・提案		県との協働	
		分野別	共通												
保健・医療・福祉		コミュニ ティサポ ート事業	地域づ くり活動 情報シ ステム									パブリック コメント 制度		民生・児 童協力 委員	
社会教育の推進															
まちづくり															
文化・芸術・スポーツ			NPO専 門相談												
環境の保全															
災害救援活動															
地域安全活動															
人権擁護・平和の推進															
国際協力活動															
男女共同参画の促進															
子どもの健全育成															
情報化社会の発展															
科学技術の振興															
経済活動の活性化															
職業能力開発・雇用 機会拡充															
消費者の保護															
団体への助言・援助															